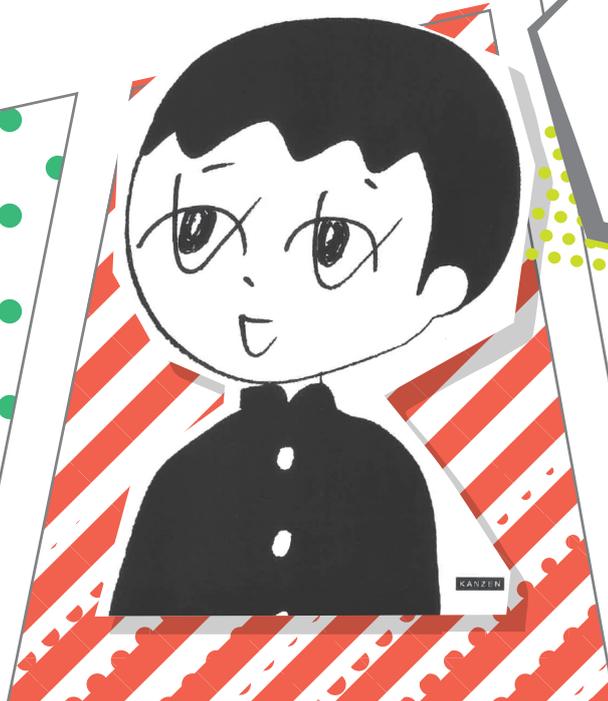




がまごおりじなる

蒲郡出身の がまごおりじなる特集

マンガ家・イラストレーター



蒲郡には、「ゾッキ」の大橋裕之さんのほかにもマンガ家がいることを知っていますか？
今号では、インタビューを通して、「がまごおりじなる」なマンガ家・イラストレーターを紹介합니다。



シティセールス推進室 ☎ 66-1225
秘書広報課 ☎ 66-1145

オダトモヒト

発行部数累計740万部を超える大ヒットマンガ「古見さんは、コミュ症です。」を描くのは、蒲郡出身のマンガ家だったんです！

マンガ家を目指したきっかけ

兄が買っていたマンガを読むうちに、マンガの世界に引き込まれたことです。マンガコーナーをうるつくだけのために、友人と夜遅くに三谷の精文館に入り浸ったりしていました(笑) お店の人には迷惑だったかも…

マンガの中に登場する蒲郡のスポット

図書館は参考にしました。あとは、古見さんのおばあちゃんの家や古見さんの両親が若いころの話は、蒲郡と、わかりやすい田舎のイメージをミックスさせた町が舞台となっています。

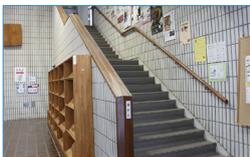
今でも蒲郡を身近に思うエピソード

山、川、植物などの自然を描く

作中の図書館



実際の図書館



ときは、住んでいた五井町を思い浮かべます。

好きな蒲郡グルメ

身の回りにあるのが当たり前だったので、特別これというものはありませんが、僕の子どもは、蒲郡から送られて来るみかんが大好きですね。

蒲郡のお気に入りスポット

初詣の竹島ですかね。死ぬほど寒いですが(笑)

離れてみて感じる蒲郡

18歳の時飛び出して12年ほどたちましたが、時々帰ると全然知らない大きい道ができています。便利になったんだなあと思うと同時に、自分の知ってる場所が減って少し寂しくもあります。

ストーリーの作り方

基本的には、自分の理想の学生生活を描くようにしています。なので大きな困難や、深刻な話はありません!と思います。スリルや、

驚きを求めている人には合わないかもしれません。普通の域を超えない学生生活の追体験をこの作品で感じてほしいです。

マンガの魅力

一人で作れることです!アニメやドラマ、映画は本当に多くの人に関わっているの、面白いもの、自分が納得するものを作るのが本当に難しい!!個人の理想や、能力が大好きです。

好きなことを仕事にするために大切なこと

好きなことでお金がもらえるのはとてもいいことです。ただし、好きなことを仕事にすると、辛くなってしまいう場合もあり、好きなことを一つ失うことになりかねないので注意!好きという気持ちで他の人に負けるな!一番好きである!と思います。



大学在学中に小学館新人コミック大賞を受賞。平成26年に週刊少年サンデーで初連載。平成28年～「古見さんは、コミュ症です。」を連載中。同作品は、アニメ・実写ドラマ化され、第67回小学館漫画賞少年向け部門を受賞。



代表作

「古見さんは、コミュ症です。」

人見知りすぎる女子高校生の古見さんが、普通すぎる只野くんと一緒に友達を作っていくコメディ作品です。

大橋裕之

ソツキだけじゃない！唯一無二のセンスと圧倒的な表現力
で、多くの著名人をもファンにする孤高のマンガ家。

マンガ家を目指したきっかけ

保育園のときに漠然と絵がうまいと言われていましたが現実的に考えてはなかったです。高校3年生のときに、マンガ雑誌の新人賞をもらっていたマンガがつまりなくて、俺でもできるのでは？と思ったことがきっかけですね。

今でも蒲郡を身近に思うエピソード

今でも毎日、「東京にいるんだな」と思いながら生活しています。それくらい自分のベースは、蒲郡にあります。

好きな蒲郡グルメ

全部おいしい。お土産では特にみかんの雫がおいしいかな。

最近、蒲郡でびっくりしたこと

6年前から居酒屋で飲むようになったんですが、そこに飲みに来ている人たちを見て、こんなに面白い人たちがいたんだと驚いています。

「音楽」が上映された観光交流フェア&ガマロケ！映画祭の感想

直接行きたかったですね。オンライン

マンガ家という職業への想い

インだったので、ダイレクトな反応が分からず残念でした。でも、楽しんでもらえたなら良かったです。

なぜか続いてしまっただけというか。ただ、こんな作風でも許されるのであれば、続けたいですね。自分ができる唯一のことだと思います。

100人中1人でも面白いと思ってくれたらいいなと思います。



蒲郡のオススメスポットを聞いたら四コママンガで答えてくれました。



平成17年に自費出版マンガで本格的な活動を開始。「音楽と漫画」収録の「音楽」は映画化され、第43回オタワ国際アニメーション映画祭長編コンペティション部門グランプリを受賞。現在、BSJapanextで「∞ソツキシリーズ」を放送中。



代表作

「シティライツ」「音楽と漫画」

日常のささいな心の動きを丁寧にすくい上げた純度の高い作品たち。



鵜飼ウ子

マンガを描いて37年！くすくすと笑える4コママンガを届けます！



マンガ家を目指したきっかけ

家庭を持ったらマンガ家になれないと諦めていましたが、病気をした折にサザエさんを読んで元気をもらい、やっぱり描きたいと思いました。アイデアを考える頭、絵を描く手と目があれば、年齢は関係ないと思い、出産後、マンガ雑誌のコンテストに応募しました。

蒲郡でお気に入りのスポット

竹島です。アイデアが出ないときは、竹島橋のベンチでオニギリを食べながら海を見てのんびりしています。

家族からの応援

大反対だった夫ですが、今はベタめりや色付けを手伝って応援してくれています。

マンガ家になって良かったこと

これしか得意なことがないので、自分の作品をみなさんに見ていただけることが一番の喜びです。

モチベーション

マンガを描くワクワク感と描き上げた満足感。あとはメ切を守る責任感ですね。新聞で4コママンガを連載していますが、母が亡くなったときだけ休載しました。

描くときに気を付けていること

多くの方に見ていただくので、不快にならないよう、読者の気持ちに寄り添って描くようにしています。本当はもう少し毒のあるマンガを描きたいんですけどね（笑）時事ネタも入れるようにしています。

くすくすと笑って、一瞬でも明るい気持ちになってもらえたらうれしいですね。



ひがしさんち

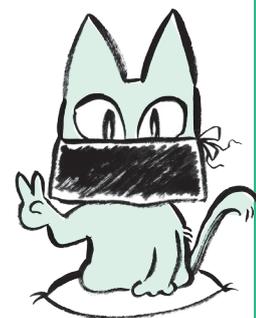
1万回目指して連載中！



蒲郡市役所勤務を経て、昭和60年にデビュー。一時期は、子育てをしながら、5本の月刊雑誌を連載。平成18年～東愛知新聞で「ひがしさんち」を連載中。

市川雅子

イラスト、人形劇、絵本の読み聞かせ、墨彩画など多彩な才能で大活躍！



クイズまちがいさがしを描ききっかけ

まちづくりセンターで会った市の広報担当者に、広報を開ききっかけになる何かを描いてほしいと頼まれて、まちがいさがしにしました。本当は1年のつもりだったんですよ。

描くのが好きなもの

動物が好きですが、特に猫が好きです。あとは、蒲郡に特化した行事や昔話。なくなりつつあるものを絵に残していきたいんです。

蒲郡の良いところ

天候が穏やかでみかんや魚がおいしいところ。あとは、人が優しいところです。昔話のネタ探しで人に話を聞くことが多いですが、初めて会う人でも快く話してくれ、地元の人が大切に思っているのだと感じます。

蒲郡でお気に入りのスポット

山の中にある古墳です。中は石室で、神秘的な世界が広がっていました。ブルーブリッジから見るのできる自然が作る寝釈迦さんも好きですね。

クイズまちがいさがしを描いて良かったこと

人形劇「とうふねこ座」の活動のときに広報のまちがいさがしを描いていると言つと、急に距離が近くなるように感じます。家族団らんのネタにちよつとでもなってくれるとうれしいな。



みかん仙人が時々こっそり登場するよ！探してみてね！



平成19年～本誌でクイズまちがいさがしを連載中。地域に伝わる説話や行事の様子などを題材に描く。令和元年に市から特別感謝状を授与される。

それぞれの個性が詰まった作品を読んでもたくなりますね。今後の活躍に期待です！